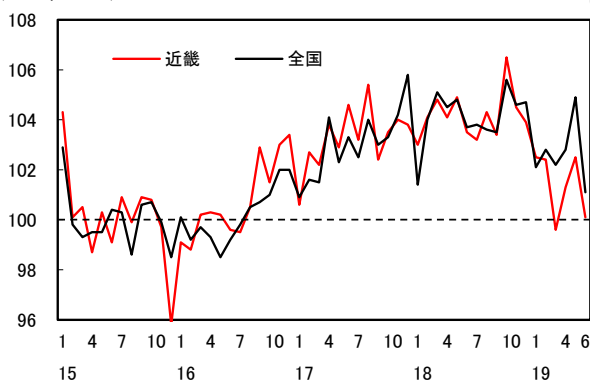


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（19年6月）】

- 19年6月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（季節調整値）は3か月ぶりの減少となった。業種別には、生産機械や輸送機械などの減少が中心で、米中貿易摩擦の影響で減少が続いていた電子部品関連は落ち着いた動きとなっている。一方、蒸気タービンなどの長期生産物を除いた動きも、3か月ぶりの減少となっている。
- 在庫循環の動きをみると、今月も前月と同様に、積み上がった在庫を減らすために企業が出荷を減らすという「在庫調整局面」となっている。
- 生産全体を「電機・電子部品」と「その他の業種」に分けると、電機・電子部品は急激な減少の後、持ち直しの動きはみられるものの、依然として水準は低い。米中貿易摩擦がさらに厳しさを増す中、電機・電子部品のさらなる生産減につながる恐れもあり、引き続き注意が必要とみられる。

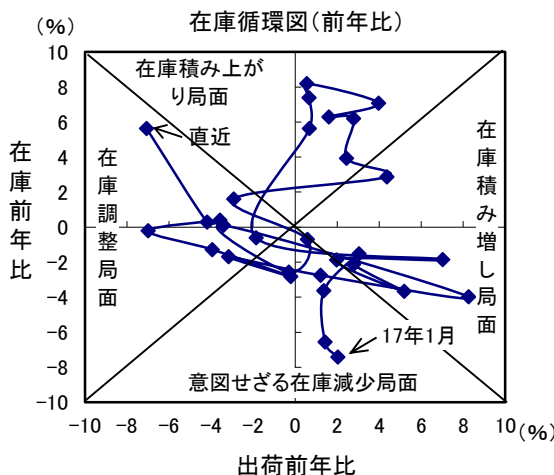
(H27年=100) 鉱工業生産指数の推移(季節調整値)



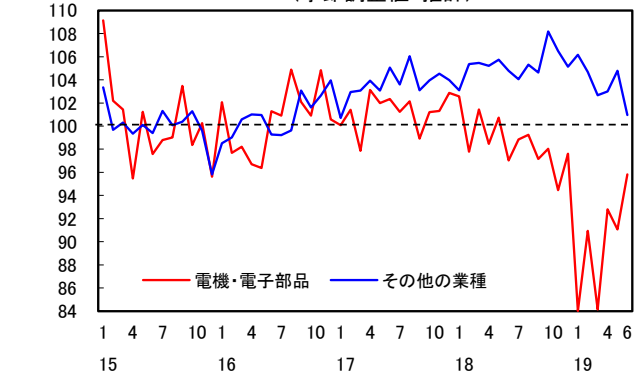
(H27年=100) 【関西】長期生産物を除いた生産指数(季節調整値)



(出所)経済産業省



(H27年=100) 【関西】電機・電子部品および、その他の業種の推移(季節調整値・推計)



(出所)経済産業省統計をもとに、りそな総研作成

※電機・電子部品・・・電子部品・デバイス工業、電気機械工業、情報通信機械工業の加重平均  
※その他の業種・・・上記3業種を除いたすべての業種

※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。